

令和5年木材統計

素材需要量は2,366万6千 m^3 で、前年に比べ228万8千 m^3 （8.8%）減少

素材供給量に占める国産材の割合は87.2%で、前年に比べ2.1ポイント上昇

【調査結果の概要】

1 素材需給の動向

(1) 素材需要量

令和5年の素材需要量は2,366万6千 m^3 で、前年に比べ228万8千 m^3 （8.8%）減少した。

このうち、素材需要量の約6割を占める製材用は1,505万8千 m^3 で、前年に比べ130万5千 m^3 （8.0%）減少した。

需要部門別の構成比は、製材用が63.6%、合板等用が17.5%、木材チップ用が18.9%となった。

図1 素材需要量の推移（全国）

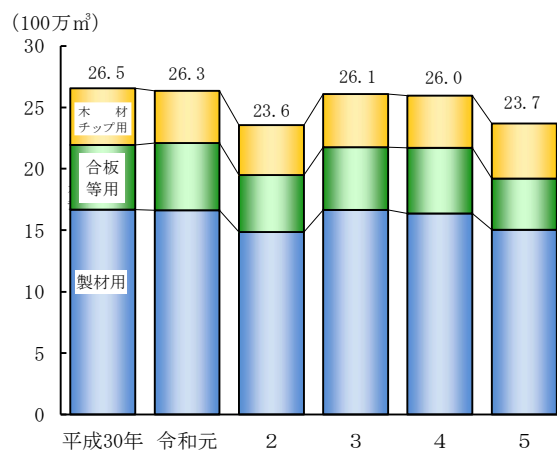


表1 素材需要量（令和5年）

区 分	全 国	対前年比	構成比
	千 m^3	%	%
素 材 需 要 量	23,666	91.2	100.0
製 材 用	15,058	92.0	63.6
合 板 等 用	4,137	77.3	17.5
木 材 チ ッ プ 用	4,471	105.5	18.9

- 素材需要量とは、製材工場、合単板工場及び木材チップ工場への素材の入荷量である。
- 素材供給量については、素材需要量をもって供給量としている。
- 統計表の各都道府県別の素材生産量とは、本調査においては、山元段階の調査が困難なことから、工場入荷量の入荷元の都道府県ごとに集計したものをもって当該都道府県における素材生産量としている。このため、都道府県の素材需要量と素材生産量は一致しない場合がある。

(2) 素材供給量

素材供給量のうち国産材は2,064万3千 m^3 で、前年に比べ143万9千 m^3 （6.5%）、輸入材は302万3千 m^3 で、同84万9千 m^3 （21.9%）それぞれ減少した。

素材供給量に占める国産材の割合は87.2%で、前年に比べ2.1ポイント上昇した。

図2 素材供給量及び国産材供給割合の推移（全国）

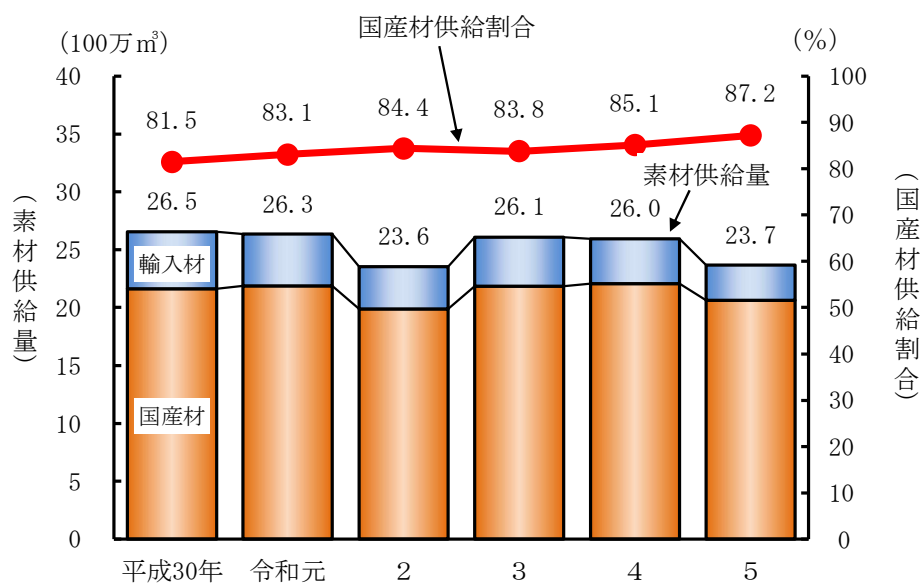


表2 素材供給量（令和5年）

区 分	全 国	対前年比	構成比
	千 m^3	%	%
素 材 供 給 量	23,666	91.2	100.0
国 産 材	20,643	93.5	87.2
輸 入 材	3,023	78.1	12.8

2 製材品出荷量

製材品出荷量は796万2千m³で、前年に比べ63万8千m³（7.4%）減少した。

3 普通合板及び特殊合板の生産量

普通合板生産量は253万2千m³で、前年に比べ52万7千m³（17.2%）減少した。

特殊合板生産量は51万9千m³で、前年に比べ3千m³（0.6%）増加した。

4 L V L生産量

L V L生産量は22万8千m³で、前年に比べ2万2千m³（8.8%）減少した。

5 木材チップ生産量

木材チップ生産量は526万3千tで、前年に比べ1万5千t（0.3%）減少した。

6 集成材及びC L T生産量

集成材生産量は167万5千m³で、前年に比べ1万6千m³（1.0%）増加した。

C L T生産量は1万8千m³で、前年に比べ3千m³（20.0%）増加した。

表3 製材品出荷量並びに普通合板、特殊合板、L V L、木材チップ、集成材
及びC L T生産量（令和5年）

区 分	単位	全 国	対前年比
			%
製 材 品 出 荷 量	千m ³	7,962	92.6
普 通 合 板 生 産 量	千m ³	2,532	82.8
特 殊 合 板 生 産 量	千m ³	519	100.6
L V L 生 産 量	千m ³	228	91.2
木 材 チ ッ プ 生 産 量	千 t	5,263	99.7
集 成 材 生 産 量	千m ³	1,675	101.0
C L T 生 産 量	千m ³	18	120.0

◎ 累年データ

1 需要部門別素材需要量及び材種別素材供給量（全国）

単位：千m³

年 次	需要部門別素材需要量				材種別素材供給量		
	計	製材用	合板等用	木 材 チップ用	計	国産材	輸入材
平成26年	(25,585)	16,661	(4,405)	4,519	(25,585)	(19,916)	(5,669)
27	(25,092)	16,182	(4,218)	4,692	(25,092)	(20,049)	(5,045)
28	(26,029)	16,590	(4,638)	4,801	(26,029)	(20,660)	(5,370)
29	(26,466)	16,802	(5,004)	4,660	(26,466)	(21,408)	(5,059)
30	26,545	16,672	5,287	4,586	26,545	21,640	4,905
令和元	26,348	16,637	5,448	4,263	26,348	21,883	4,465
2	23,550	14,851	4,626	4,073	23,550	19,882	3,668
3	26,085	16,650	5,093	4,342	26,085	21,847	4,238
4	25,954	16,363	5,355	4,236	25,954	22,082	3,872
5（概数）	23,666	15,058	4,137	4,471	23,666	20,643	3,023

資料：農林水産省統計部『木材需給報告書』（以下2の統計表まで同じ。）

注：（ ）内の値は、L V L用を含まない。

2 製材品の出荷量、合板（普通・特殊）生産量、木材チップ生産量（全国）

年 次	製 材			合単板				木材チップ	
	工場数	製材品 出荷量	人 工 乾燥材	工場数	普通合板 生 産 量	針葉樹 合 板	特殊合板 生 産 量	工場数	木材チップ 生産量
	工場	千m ³	千m ³	工場	千m ³	千m ³	千m ³	工場	千 t
平成26年	5,469	9,595	3,219	186	2,813	2,615	584	1,477	5,850
27	5,206	9,231	3,153	185	2,756	2,569	524	1,424	5,745
28	4,934	9,293	3,421	183	3,063	2,888	642	1,393	5,826
29	4,814	9,457	3,929	181	3,287	3,143	623	1,364	5,954
30	4,582	9,202	3,930	180	3,298	3,150	580	1,303	5,706
令和元	4,382	9,032	4,187	176	3,337	3,212	562	1,250	5,266
2	4,115	8,203	3,825	173	2,999	2,896	551	1,196	4,753
3	3,948	9,091	4,187	158	3,172	3,087	494	1,082	6,070
4	3,804	8,600	4,100	155	3,059	2,919	516	1,110	5,278
5（概数）	3,749	7,962	4,009	164	2,532	2,481	519	1,119	5,263

【調査結果】

1 素材需給の動向

(1) 素材需要量（統計表 1 (1) ア～エ 参照）

素材需要量は 2,366 万 6 千³m で、前年に比べ 228 万 8 千³m（8.8%）減少した。

これを需要部門別にみると、製材用は 1,505 万 8 千³m で、前年に比べ 130 万 5 千³m（8.0%）、合板等用は 413 万 7 千³m で、同 121 万 8 千³m（22.7%）それぞれ減少し、木材チップ用は 447 万 1 千³m で、同 23 万 5 千³m（5.5%）増加した。

(2) 素材供給量（統計表 1 (1) ア 参照）

素材供給量のうち国産材は 2,064 万 3 千³m で、前年に比べ 143 万 9 千³m（6.5%）、輸入材は 302 万 3 千³m で、同 84 万 9 千³m（21.9%）それぞれ減少した。

素材供給量に占める国産材の割合は 87.2% で、前年に比べ 2.1 ポイント上昇した。

表 4 需要部門別、材種別素材供給量（全国）（令和 5 年）

		単位：千 ³ m								
供給量 需要部門	計	国 産 材			輸 入 材					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
計	23,666	20,643	18,922	1,721	3,023	44	2,496	122	309	52
製 材 用	15,058	12,267	12,181	86	2,791	x	2,283	122	305	x
合 板 等 用	4,137	3,909	3,889	20	228	x	x	-	x	x
木材チップ用	4,471	4,467	2,852	1,615	4	-	x	-	x	-
対前年比 (%)										
計	91.2	93.5	92.8	101.5	78.1	81.5	77.3	67.0	102.0	50.0
製 材 用	92.0	94.8	94.7	114.7	81.5	x	80.6	70.1	108.9	x
合 板 等 用	77.3	79.6	79.5	100.0	51.5	x	x	-	x	x
木材チップ用	105.5	105.5	108.4	100.9	133.3	nc	x	nc	x	nc
構成比 (%)										
計	100.0	87.2	80.0	7.3	12.8	0.2	10.5	0.5	1.3	0.2
製 材 用	100.0	81.5	80.9	0.6	18.5	x	15.2	0.8	2.0	x
合 板 等 用	100.0	94.5	94.0	0.5	5.5	x	x	-	x	x
木材チップ用	100.0	99.9	63.8	36.1	0.1	-	x	-	x	-

注：構成比については表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

ア 国産材素材供給量（統計表 1 (3) ア～エ 参照）

国産材素材供給量を針葉樹、広葉樹別にみると、針葉樹は 1,892 万 2 千 m^3 で、前年に比べ 146 万 4 千 m^3 （7.2%）減少し、広葉樹は 172 万 1 千 m^3 で、同 2 万 5 千 m^3 （1.5%）増加した。

針葉樹を樹種別にみると、素材全体の供給量の 6 割弱を占めるすぎは 1,191 万 7 千 m^3 で、前年に比べ 132 万 1 千 m^3 （10.0%）、からまつは 183 万 7 千 m^3 で、同 9 万 5 千 m^3 （4.9%）、えぞまつ・とどまつは 124 万 1 千 m^3 で、同 18 万 9 千 m^3 （13.2%）、あかまつ・くろまつは 49 万 4 千 m^3 で、同 6 万 5 千 m^3 （11.6%）それぞれ減少し、ひのきは 317 万 6 千 m^3 で、同 20 万 5 千 m^3 （6.9%）増加した。

図 3 樹種別の国産材素材供給量の推移（全国）

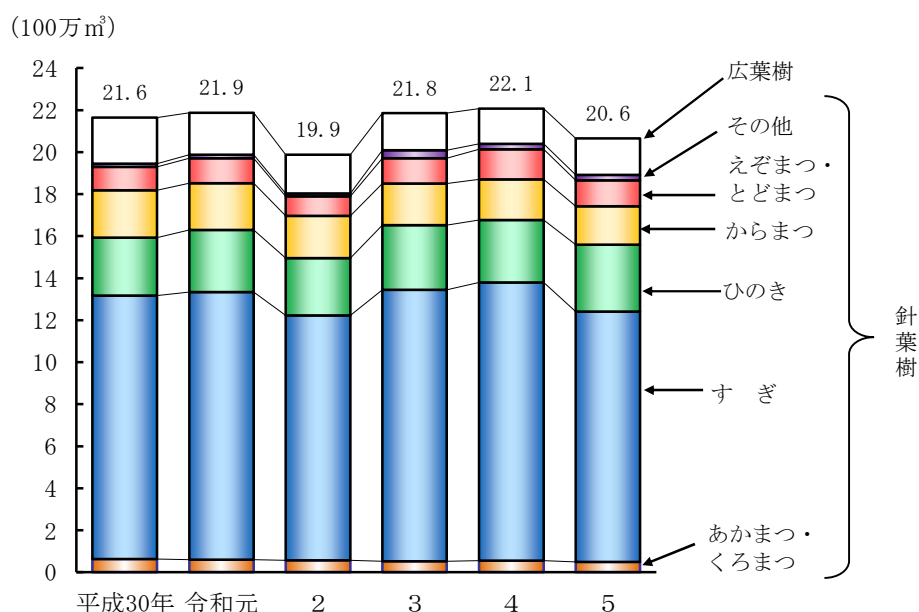


表 5 樹種別の国産材素材供給量（全国）（令和 5 年）

供給量 需要部門	計	針 葉 樹							広葉樹
		小 計	あかまつ・くろまつ	す ぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ・とどまつ	その他	
計	20,643	18,922	494	11,917	3,176	1,837	1,241	257	1,721
製 材 用	12,267	12,181	74	8,120	2,316	824	801	46	86
合 板 等 用	3,909	3,889	152	2,163	622	731	200	21	20
木材チップ用	4,467	2,852	268	1,634	238	282	240	190	1,615
対前年比 (%)									
計	93.5	92.8	88.4	90.0	106.9	95.1	86.8	100.4	101.5
製 材 用	94.8	94.7	87.1	91.2	110.3	87.0	100.0	158.6	114.7
合 板 等 用	79.6	79.5	66.7	74.7	101.3	98.5	53.3	55.3	100.0
木材チップ用	105.5	108.4	108.9	113.2	92.6	116.0	94.5	100.5	100.9
構成比 (%)									
計	100.0	91.7	2.4	57.7	15.4	8.9	6.0	1.2	8.3
製 材 用	100.0	99.3	0.6	66.2	18.9	6.7	6.5	0.4	0.7
合 板 等 用	100.0	99.5	3.9	55.3	15.9	18.7	5.1	0.5	0.5
木材チップ用	100.0	63.8	6.0	36.6	5.3	6.3	5.4	4.3	36.2

イ 輸入材素材供給量（統計表 1 (1) ア、2 (5) 参照）

輸入材素材供給量を産地材別にみると、輸入材の 8 割強を占める米材は 249 万 6 千 m³で、前年に比べ 73 万 3 千 m³（22.7%）、北洋材は 12 万 2 千 m³で、同 6 万 m³（33.0%）それぞれ減少し、ニュージーランド材は 30 万 9 千 m³で、同 6 千 m³（2.0%）増加した。

また、製材用素材の輸入材のうち半製品入荷量は 18 万 m³で、前年に比べ 7 万 8 千 m³（30.2%）減少した。

図 4 産地別の輸入材素材供給量の推移（全国）

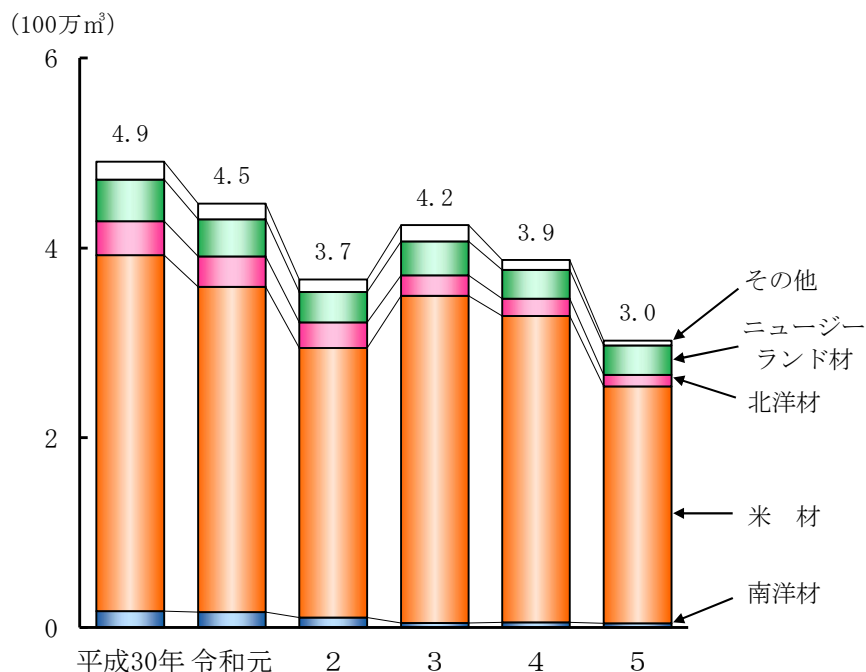


表 6 産地別の輸入材素材供給量（令和 5 年）

単位：千m ³						
区 分	計	南洋材	米 材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全 国	3,023	44	2,496	122	309	52
対前年比 (%)	78.1	81.5	77.3	67.0	102.0	50.0
構 成 比 (%)	100.0	1.5	82.6	4.0	10.2	1.7

表 7 製材用の輸入材素材のうち半製品入荷量（令和 5 年）

単位：千m ³						
区 分	計	南洋材	米 材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全 国	180	6	30	106	10	28
対前年比 (%)	69.8	150.0	83.3	76.8	100.0	40.0
構 成 比 (%)	100.0	3.3	16.7	58.9	5.6	15.6

2 製材の動向

(1) 製材工場数、製材用動力の出力数（統計表 2 (1) 参照）

製材工場数は 3,749 工場で、前年に比べ 55 工場（1.4%）減少した。これを製材用動力の出力階層別にみると、75.0～300.0kW の階層は前年と同数、1,000kW 以上の階層は増加し、それ以外の階層では減少した。

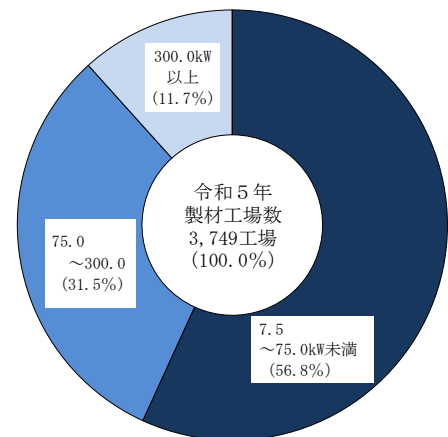
製材用動力の総出力数は 62 万 7,087.8kW で、前年に比べ 7654.9kW（1.2%）減少した。

1 工場当たりの出力数は 167.3kW で、前年に比べ 0.4kW（0.2%）増加した。

表 8 製材用動力の出力階層別製材工場数及び出力数
（令和 5 年）

区 分	単位	全 国	対前年比	構成比
			%	%
工場数計	工場	3,749	98.6	100.0
出力階層別				
7.5 ～ 75.0kW未満	"	2,131	97.6	56.8
75.0 ～ 300.0	"	1,180	100.0	31.5
300.0kW以上	"	438	99.3	11.7
うち1,000.0kW以上	"	85	106.3	2.3
総出力数	kW	627,087.8	98.8	-
1 工場当たり出力数	"	167.3	100.2	-

図 5 製材工場の出力階層別構成割合
（全国）



(2) 製材用素材消費量（統計表 2 (3) 参照）

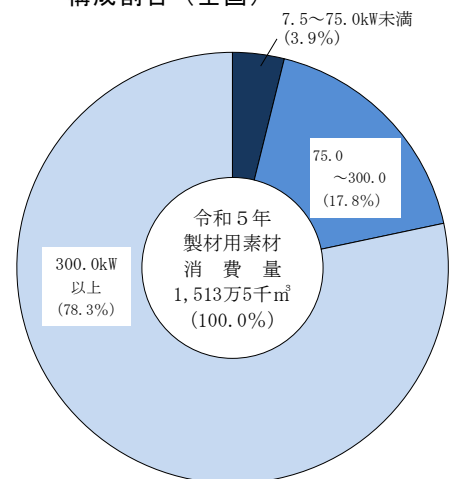
製材用素材消費量は 1,513 万 5 千 m³ で、前年に比べ 87 万 7 千 m³（5.5%）減少した。

1 工場当たりの素材消費量は 4,037 m³ で、前年に比べ 172 m³（4.1%）減少した。

表 9 製材用動力の出力階層別素材消費量（令和 5 年）

区 分	単位	全 国	対前年比	構成比
			%	%
素材消費量計	千 m³	15,135	94.5	100.0
出力階層別				
7.5 ～ 75.0kW未満	"	584	86.8	3.9
75.0 ～ 300.0	"	2,699	92.9	17.8
300.0kW以上	"	11,852	95.3	78.3
うち1,000.0kW以上	"	5,992	78.3	39.6
1 工場当たり素材消費量	m³	4,037	95.9	-

図 6 製材用素材消費量の出力階層別構成割合（全国）



(3) 製材品出荷量（統計表 2 (4) 参照）

製材品出荷量は 796 万 2 千 m^3 で、前年に比べ 63 万 8 千 m^3 （7.4%）減少した。

これを用途別にみると、8 割強を占める建築用材は 648 万 7 千 m^3 で、前年に比べ 47 万 4 千 m^3 （6.8%）、木箱仕組板・こん包用材は 93 万 m^3 で、同 10 万 m^3 （9.7%）、土木建設用材は 32 万 1 千 m^3 で、同 5 万 4 千 m^3 （14.4%）それぞれ減少し、家具建具用材は 5 万 2 千 m^3 で、同 2 千 m^3 （4.0%）増加した。

また、人工乾燥材出荷量は 400 万 9 千 m^3 で、前年に比べ 9 万 1 千 m^3 （2.2%）減少した。

製材品出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合は 50.4%で、前年に比べ 2.7 ポイント上昇した。

図 7 用途別製材品出荷量の推移（全国）

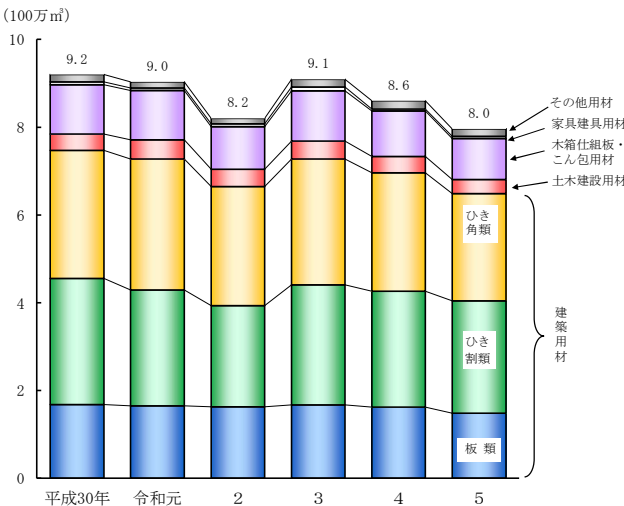


図 8 人工乾燥材出荷量及び製材品出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合の推移（全国）

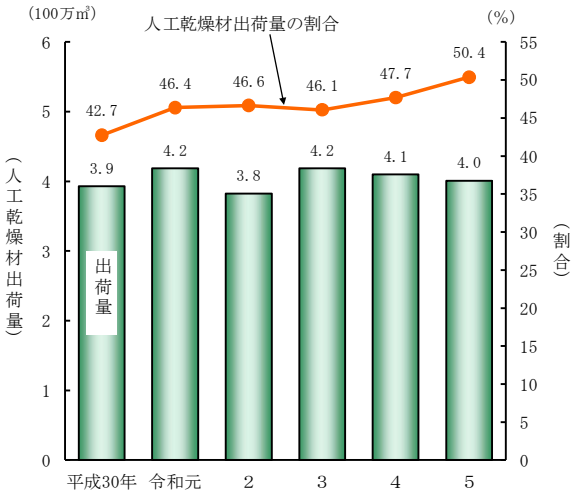


表 10 用途別製材品出荷量（令和 5 年）

区 分	単位：千 m^3									
	計	建 築 用 材					土木建設用材	木箱仕組板・こん包用材	家具建具用材	その他用材
		人工乾燥材	小 計	板 類	ひき割類	ひき角類				
全 国	7,962	4,009	6,487	1,480	2,562	2,445	321	930	52	172
対前年比 (%)	92.6	97.8	93.2	91.6	96.8	90.6	85.6	90.3	104.0	93.5
構 成 比 (%)	100.0	50.4	81.5	18.6	32.2	30.7	4.0	11.7	0.7	2.2

3 合単板及びLVLの動向

(1) 合単板工場数（統計表3(1) 参照）

合単板工場数は164工場で、前年に比べ9工場（5.8%）増加した。

これを工場類型別にみると、「単板のみ」を生産している工場は前年に比べ6工場（30.0%）、「普通合板のみ」を生産している工場は同1工場（3.3%）、「普通合板と特殊合板」を生産している工場は同2工場（66.7%）それぞれ増加し、「特殊合板のみ」を生産している工場は前年と同数であった。

表 11 合単板工場数（令和5年）

単位：工場

区 分	計	単板のみ	普通合板のみ	普通合板と 特殊合板	特殊合板のみ
全 国	164	26	31	5	102
対前年比（%）	105.8	130.0	103.3	166.7	100.0
構 成 比（%）	100.0	15.9	18.9	3.0	62.2

(2) 単板消費量（統計表3(2) 参照）

単板消費量は340万7千m³で、前年に比べ57万2千m³（14.4%）減少した。

これを用途別にみると、合板用が305万m³で、前年に比べ57万m³（15.7%）、LVL用は35万7千m³で、同2千m³（0.6%）それぞれ減少した。

表 12 単板消費量（令和5年）

単位：千m³

区 分	計	合板用	LVL用
全 国	3,407	3,050	357
対前年比（%）	85.6	84.3	99.4
構 成 比（%）	100.0	89.5	10.5

(3) 普通合板及び特殊合板の生産量

ア 普通合板生産量（統計表3(3)ア～ウ 参照）

普通合板生産量は253万2千m³で、前年に比べ52万7千m³（17.2%）減少した。

このうち、針葉樹合板生産量は248万1千m³で、前年に比べ43万8千m³（15.0%）減少した。

また、厚さ別にみると、「12～24mm」は109万7千m³で、前年に比べ18万2千m³（14.2%）、「24mm以上」は100万1千m³で、同14万2千m³（12.4%）それぞれ減少した。

表 13 普通合板生産量（令和5年）

単位：千m³

区 分	普通合板 生 産 量	厚 さ 別				針 葉 樹 合 板	
		6mm未満	6～12	12～24	24mm以上		構 造 用
全 国	2,532	29	405	1,097	1,001	2,481	2,228
対前年比（%）	82.8	27.6	76.1	85.8	87.6	85.0	86.4
構 成 比（%）	100.0	1.1	16.0	43.3	39.5	98.0	88.0

イ 特殊合板生産量（統計表 3 (4) 参照）

特殊合板生産量は 51 万 9 千 m^3 で、前年に比べ 3 千 m^3 （0.6%）増加した。

表 14 特殊合板生産量（令和 5 年）

単位：千 m^3	
区 分	特殊合板生産量
全 国	519
対前年比 (%)	100.6

(4) L V L 工場数（統計表 3 (5) 参照）

L V L 工場数は 15 工場で、前年に比べ 3 工場（25.0%）増加した。

表 15 L V L 工場数（令和 5 年）

単位：工場	
区 分	L V L 工場
全 国	15
対前年比 (%)	125.0

(5) L V L 生産量（統計表 3 (5) 参照）

L V L 生産量は 22 万 8 千 m^3 で、前年に比べ 2 万 2 千 m^3 （8.8%）減少した。

これを用途別にみると、構造用は 14 万 4 千 m^3 で、前年に比べ 1 万 1 千 m^3 （7.1%）、その他が 8 万 4 千 m^3 で、同 1 万 1 千 m^3 （11.6%）それぞれ減少した。

表 16 L V L 生産量（令和 5 年）

単位：千 m^3			
区 分	計	構造用	その他
全 国	228	144	84
対前年比 (%)	91.2	92.9	88.4
構 成 比 (%)	100.0	63.2	36.8

4 木材チップの動向

(1) 木材チップ工場数（統計表 4 (1) 参照）

木材チップ工場数は1,119 工場で、前年に比べ9 工場（0.8%）増加した。

これを専門・兼営区分別にみると、「木材チップ専門工場」は327 工場で、前年に比べ7 工場（2.2%）、
「製材又は合単板工場等との兼営工場」は792 工場で、同2 工場（0.3%）それぞれ増加した。

表 17 木材チップ工場数（令和 5 年）

区 分	単位：工場		
	計	木材チップ 専門工場	製材又は合単板 工場等との兼営工場
全 国	1,119	327	792
対前年比（%）	100.8	102.2	100.3
構 成 比（%）	100.0	29.2	70.8

(2) 木材チップ生産量（統計表 4 (2) 参照）

木材チップ生産量は526 万 3 千 t で、前年に比べ1 万 5 千 t（0.3%）減少した。

これを原材料別にみると、素材（原木）は241 万 2 千 t で、前年に比べ3 万 4 千 t（1.4%）、解体材・廃材は72 万 2 千 t で、同2 万 4 千 t（3.4%）それぞれ増加し、工場残材は208 万 4 千 t で、同7 万 2 千 t（3.3%）、林地残材は4 万 5 千 t で、同1 千 t（2.2%）それぞれ減少した。

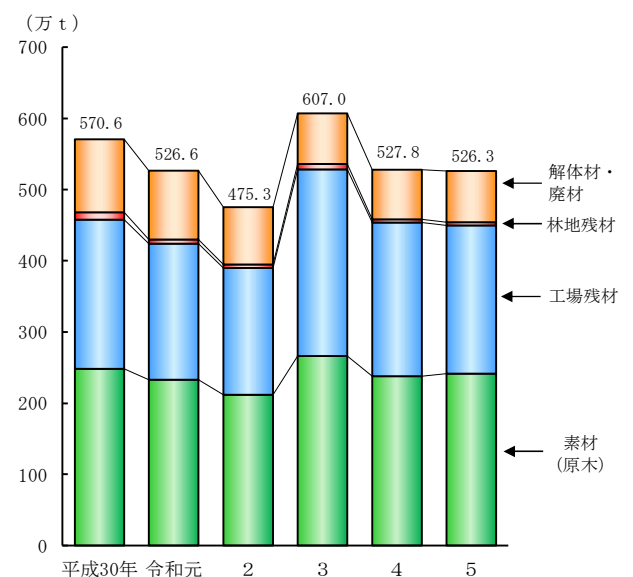
また、針葉樹・広葉樹別にみると、針葉樹は354 万 8 千 t で、前年に比べ2 万 2 千 t（0.6%）増加し、広葉樹は99 万 3 千 t で、同6 万 1 千 t（5.8%）それぞれ減少した。

表 18 木材チップ生産量（全国）（令和 5 年）

区 分	生産量	対前年比	構成比
	千 t	%	%
木材チップ生産量	5,263	99.7	100.0
原材料別			
素材（原木）	2,412	101.4	45.8
工場残材	2,084	96.7	39.6
林地残材	45	97.8	0.9
解体材・廃材	722	103.4	13.7
針葉樹・広葉樹別			
針 葉 樹	3,548	100.6	—
広 葉 樹	993	94.2	—

注：針葉樹・広葉樹別には解体材・廃材を含んでいない。

図 9 原材料別木材チップ生産量の推移（全国）



5 集成材及びＣＬＴの動向

(1) 集成材及びＣＬＴ工場数（統計表５（１）参照）

集成材工場数は 143 工場で、前年に比べ 3 工場（2.1％）、ＣＬＴ工場数は 10 工場で、同 1 工場（11.1％）それぞれ増加した。

表 19 集成材及びＣＬＴ工場数（令和５年）

単位：工場		
区 分	集成材工場	ＣＬＴ工場
全 国	143	10
対前年比（％）	102.1	111.1

(2) ラミナ消費量（統計表５（２）参照）

ラミナ消費量は 194 万 2 千 m^3 で、前年に比べ 58 万 7 千 m^3 （23.2％）減少した。

これを用途別にみると、集成材用が 191 万 4 千 m^3 で、前年に比べ 58 万 9 千 m^3 （23.5％）減少し、ＣＬＴ用が 2 万 8 千 m^3 で、同 2 千 m^3 （7.7％）増加した。

表 20 ラミナ消費量（令和５年）

単位：千 m^3			
区 分	計	集成材用	ＣＬＴ用
全 国	1,942	1,914	28
対前年比（％）	76.8	76.5	107.7
構 成 比（％）	100.0	98.6	1.4

(3) 集成材生産量（統計表５（３）参照）

集成材生産量は 167 万 5 千 m^3 で、前年に比べ 1 万 6 千 m^3 （1.0％）増加した。

これを用途別にみると、構造用が 159 万 m^3 で、前年に比べ 1 万 3 千 m^3 （0.8％）増加した。

表 21 集成材生産量（令和５年）

単位：千 m^3						
区 分	計	構造用				その他
		小計	大断面	中断面	小断面	
全 国	1,675	1,590	33	642	915	85
対前年比（％）	101.0	100.8	275.0	100.8	98.6	103.7
構 成 比（％）	100.0	94.9	2.0	38.3	54.6	5.1

(4) ＣＬＴ生産量（統計表５（４）参照）

ＣＬＴ生産量は 1 万 8 千 m^3 で、前年に比べ 3 千 m^3 （20.0％）増加した。

これを用途別にみると構造用が 1 万 6 千 m^3 で、前年に比べ 2 千 m^3 （14.3％）増加した。

表 22 ＣＬＴ生産量（令和５年）

単位：千 m^3			
区 分	計	構造用	その他
全 国	18	16	2
対前年比（％）	120.0	114.3	200.0
構 成 比（％）	100.0	88.9	11.1

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040189500&ext=xls>

【調査の概要】

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/gaiyou/>

【調査結果の主な利活用】

森林・林業基本計画における林産物の供給及び利用の目標を設定するための資料として利用

【ホームページ掲載案内】

- 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「森林、林業」の「木材統計調査」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/#y>

- 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和7年3月予定）します。
- 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

林野庁ホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/>

お問合せ先

◎ 本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 畜産・木材統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3686
（直通）03-3502-5665

◎ 農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries

5年に1度の一斉調査

2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）を実施します。

調査期間

令和6年12月中旬～令和7年2月末 農林業経営体調査
令和7年1月中旬～令和7年2月末 農山村地域調査（市区町村調査）
令和7年10月上旬～令和7年12月末 農山村地域調査（農業集落調査）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いいたします。

また、調査票はオンラインによる回答も可能です。



農林業センサス

農林業センサス 2025

